

AD01 明石 香澄 AD13 鈴木 麻倫
指導教員 菅原 由佳

1. 研究目的

小山町・小山ヶ丘地域のプロモーション小冊子として地域の評価を得ているアレサであるが、今回継続要請を受け、第6号を制作することとなった。第6号は地域のプロモーションツールとしてだけでなく、小山町・小山ヶ丘地域をより深く知ってもらえるような情報を発信していく。その為に、地域で活躍している方へのインタビューを通して、読者が必要としている内容を厳選して提供する。

2. 調査と分析

以下の調査、分析をもとに制作を進めた。

- (1)近年、小山町・小山ヶ丘地域には、小学生から中学生くらいの子供を持つ家庭が増加傾向にある。そこで、家族で楽しみ、学べる内容にする。
- (2)自分達で実際に小山町・小山ヶ丘地域を回り、調査した結果、自分達が今まで知らなかった発見があった。そこで、新たに気づいた地域の良さを伝えるコンテンツを提案する。
- (3)昨年からは積極的に始めたプロモーション活動が非常に好評であった為、今年も引き継ぎ活動する。また、昨年の取り組みだけではなく、新たなアプローチも提案する。

3. コンセプトの立案

調査と分析をもとに「家族で楽しめるアレサ」というコンセプトに設定した。

- ・家族みんなで知ってほしい地域の情報を伝える新たなコンテンツ提案
- ・親子で楽しめるワークショップ提案

4. デザイン展開

上記をふまえ、次のようにデザイン展開を行う。

- (1)インタビューや座談会などの機会を多く設け、地域で活躍している方のお話を直接聞いた。その中で、各家庭で知っておいてほしい情報を分かりやすく伝えるということを意識し、コンテンツを提案した。また、昨年好評だったコンテンツの中で、今号のコンセプトに則しているものは引き継いだ。
- (2)調査の結果、小山町・小山ヶ丘地域には農家がたくさんあることを知った。読者にも、自分の住む地域で品質の良い美味しいものが作られていることを知ってもらうため、実際に農家の方の元を訪れ、インタビューをし、その内容を紙面にまとめた。また小山町・小山ヶ丘地域ではスポーツが盛んである

ことを知った。そこで、地域のスポーツ団体の方に集まって頂き、座談会を開いてお話を聞いた。その座談会はスポーツ団体同士を繋ぐ良いきっかけとなり、また、アレサでスポーツ特集をするのはどうかなどの意見が挙がり、今後につながるものとなった。

(3)アレサを身近に感じてもらうきっかけとして、写真撮影用のキャラクターパネルの制作を行い、本校学園祭にて設置した。昨年に引き続きアレサスタンプラリーを開催し、参加者にノベルティグッズであるマグネットを配布した。また、今号新たな取り組みとして、親子で楽しめる時間を提供する「親子で作る人形制作のワークショップ」の企画・運営を行った。至って簡単な作業内容であるが、親子でコミュニケーションをとってもらうため、あえて分担作業にしている。この企画は、本校学園祭(育英祭)および、アレサふれあいまつりにて実施した。

5. 完成図



小冊子表紙



キャラクターパネル



人形制作例

6. 結論

商栄会の方から「完成度がプロに近づいている。余裕を持って取り組めて良かった。」とお褒めの言葉をいただいた。次号に繋がるアイデアも生まれ、今後が期待される結果となった。また、新たな取り組みであったワークショップは、育英祭とアレサふれあいまつりを合わせて約 300 人と、多くの方に参加していただくことができた。保護者の方から、「子供達は今でも作品を大事にしている。」とのお声をいただき、親子で楽しめる時間を提供するという目的を多いに達成することができた。

協力

アレサ商栄会, 町田商工会議所, 鎌水小山給水塔, 町田消防署, 南大沢警察署, FC 町田ゼルビア, 東京・小山 FC, 小山フアイターズ, 小山中学校 [印刷] 芳文社株式会社